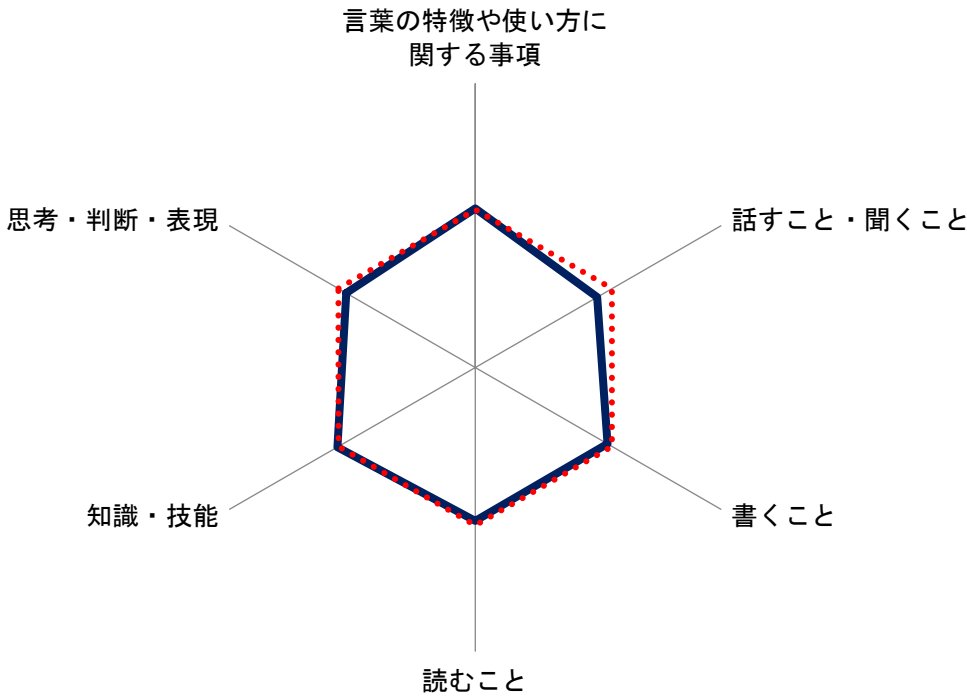


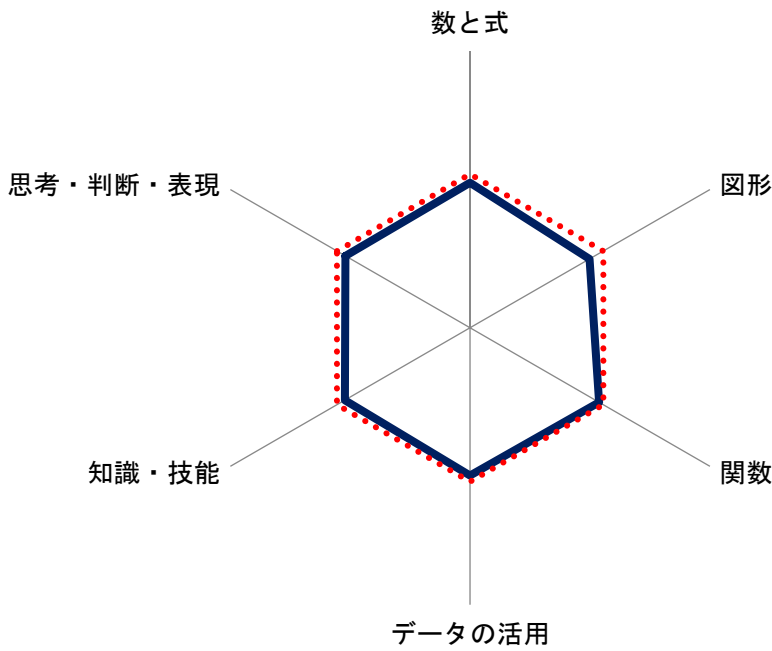
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均



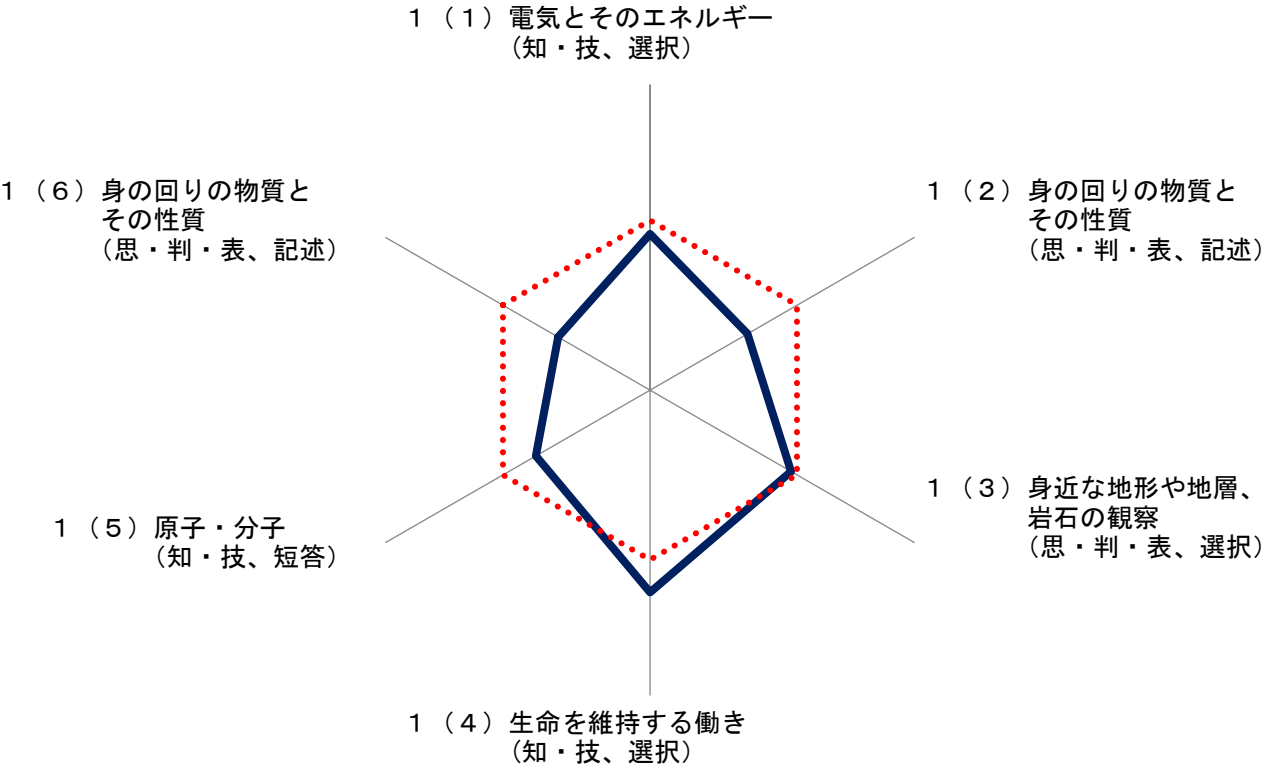
【数学】



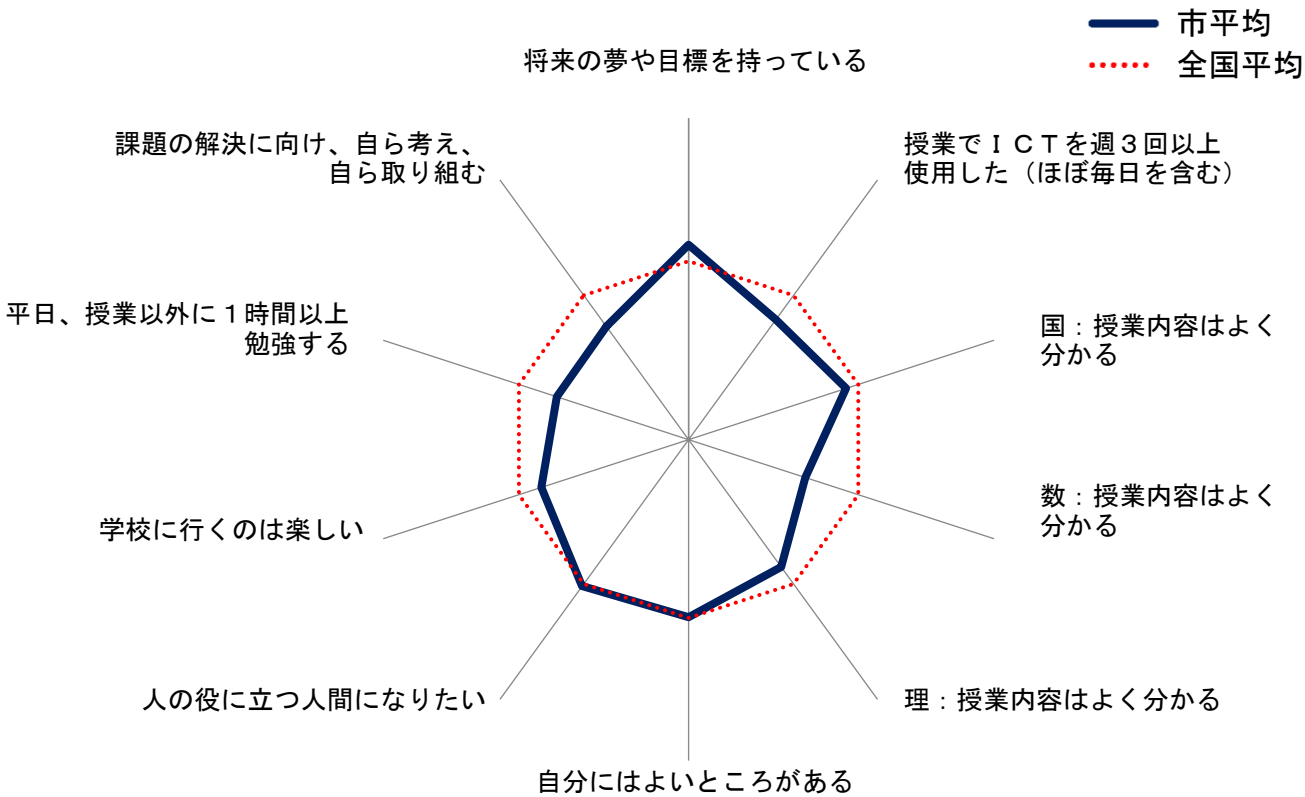
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)
【理科】

※全ての生徒が解答した共通公開問題(6問)について、問題ごとに
全国の平均正答率と県や市町の平均正答率との差を比較したもの

— 市平均
..... 全国平均



○ 生徒質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は「言葉の特徴や使い方に関する事項」と「知識・技能」の項目に昨年度から改善が見られるとともに、理科の1 (4) の既習の知識の活用を問う問題は全国平均を大きく上回っている。一方、国語の「話すこと・聞くこと」の項目や国語と数学の「思考・判断・表現」の項目は、昨年度より全国平均との差が小さくなったものの、依然として全国平均を下回っているとともに、理科の公開問題の多くも全国平均を下回っており、課題である。今後は、基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図るとともに、市が重視している他者との対話をさらに充実させることにより、個々の理解を深めるなど、新居浜市独自の授業モデルを生かした授業実践の推進に取り組むことが望まれる。

生徒質問調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を上回るとともに、「授業でICTを週3回以上使用した」の項目についても、全国平均との差が昨年度より小さくなり、改善傾向が見られる。一方、「授業内容はよく分かる」「課題の解決に向け、自ら考え、自ら取り組む」「平日、授業以外に1時間以上勉強する」の項目は全国平均との差が大きく、課題である。今後も、子供たちが主体的に学習に取り組み、生徒にとって「分かる」「できる」を実感できる授業づくりに向けて、ICTの効果的な活用を図った授業改善をより一層推進していくことが望まれる。